

食器の選定等について

1 強化磁器食器から樹脂食器への変更について

現在、市の学校給食では強化磁器食器を使用していますが、破損による怪我の危険性や重くて配膳作業や洗浄作業で負担が大きいこと、破損率及び購入単価が高いため財政を圧迫していることから新センターの移設・建替えに合わせて樹脂食器に変更する予定です。

樹脂製食器の素材については、ポリエチレンナフタレート (PEN)、メラミン (MF)、ポリプロピレン (PP)、ポリカーボネート (PC) などがありますが、樹脂の中でも最も安全でコストパフォーマンスに優れているポリエチレンナフタレート (PEN)：通称 PEN 樹脂製の食器を導入する予定です。

^{ペン}PEN樹脂食器、その他樹脂食器、強化磁器食器の比較

	長 所	短 所
PEN 樹脂食器	<ul style="list-style-type: none"> ○環境ホルモンとの関わりなく安全 ○割れにくく安全、経費が削減できる ○軽く扱いやすいため配膳作業や洗浄作業の負担が軽減される ○耐熱性に優れ熱い食事にも手に持てる ○樹脂の中で最も短所が改善されていて傷や変色に強い ○食品成分や酸・アルカリにも強く、安全で着色しない ○塩素系・酵素系漂白が可能で衛生管理に優れる ○樹脂及び磁器食器中、最も耐用年数が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ○樹脂の中では価格がやや高い
その他の 樹脂食器 (メラミン、 ポリプロピ レン、ポリカ ーボネート)	<ul style="list-style-type: none"> ○割れにくく安全、経費が削減できる ○軽く扱いやすいため配膳作業や洗浄作業の負担が軽減される ○耐熱性に優れ熱い食事にも手に持てる 	<ul style="list-style-type: none"> ○傷がつきやすい ○着色や黄変がある ○ポリカーボネートを除いて塩素系漂白ができない ○ポリカーボネートの原料に環境ホルモンの疑いあり
強化磁器 食器	<ul style="list-style-type: none"> ○環境ホルモンとの関わりがなく安全 ○家庭の雰囲気近く見栄えがよい ○着色や黄変がない ○塩素系・酵素系漂白が可能で衛生管理に優れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○割れやすく破片が危険、ランニングコストが大きい ○重い。特に低学年には重く、配膳作業も負担大。洗浄作業も負担が大きい ○熱が伝わりやすく熱い食事の場合手で持ちにくい ○厚みがありかさばる (収納スペースが増える)

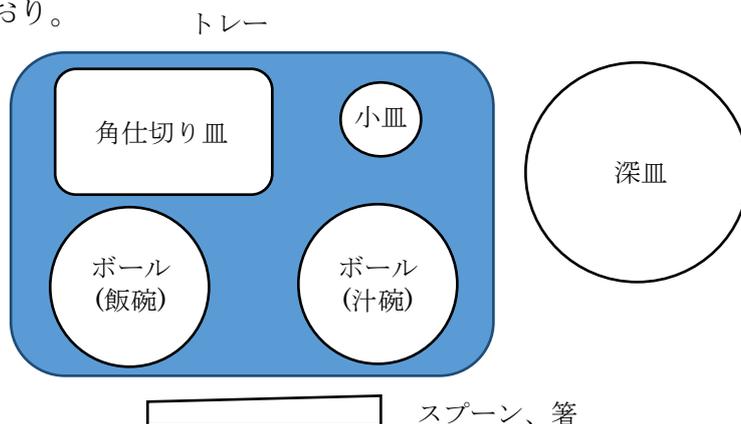
2 食器種類（点数）について

現行の食器はトレーに仕切り（くぼみ）があり、丸いくぼみ2つと四角い長方形のくぼみ2つついたトレー皿と呼ばれるトレーに汁碗と飯碗をのせ、四角いくぼみにはパンやおかず、デザートなどを盛りつけており、パンやおかずなどをトレーに直接載せるため好ましくありません。

今後は食育の観点から、汁碗、飯碗の他、主菜・副菜用に仕切りのついた角仕切り皿とパン・麺用の深皿、デザート用の小皿を用意し、麺類の給食時には箸をつける予定です。（自校方式の桜台小学校、桜台中学校とほぼ同じ食器構成になります）

市で検討している食器は次のとおり。

- (1) トレー（平面で長方形）
- (2) ボール（飯碗・汁碗兼用）
- (3) 角仕切り皿（主菜／副菜）
- (4) 深皿（パン・麺）
- (5) 小皿（デザート）
- (6) スプーン
- (7) 箸



3 食器に市のゆるきやら「なし坊」のプリントについて

給食食器には食育の観点から絵柄をプリントしたものが多く、最近では市の「ゆるきやら」などをプリントする自治体も増えてきており、白井市では特産の梨をPRするために作られた「なし坊」をプリントすることとする予定です。

プリントを施すことにより、児童生徒の給食の楽しみが増すとともに白井に対する郷土愛を育むことができ、将来的に人口の流出減少等に資することにつながります。

近隣市等の状況

- 鎌ヶ谷市：かまたん
- 成田市：うなりくん
- 袖ヶ浦市：ガウラ
- 神奈川県三浦市：三浦ツナの介
- 神奈川県茅ヶ崎市：えぼし麻呂・ミーナ
- 茨城県水戸市：みとちゃん
- 茨城県つくば市：ツクツク



「なし坊」

4 磁器食器の再利用について

樹脂食器への変更により、これまで使用していた磁器食器は廃棄せずに桜台小学校及び桜台中学校で使用している磁器食器の破損補充用として使用する予定です。